

2018年6月26日

さらなる障がい者雇用の拡大をめざして  
**ダイキンサンライズ摂津 新棟が完成**

ダイキン工業の特例子会社である株式会社ダイキンサンライズ摂津は、障がい者雇用の拡大をめざして増築した新事務所棟が完成したことに伴い、竣工式を行ないました。式には、厚生労働省大阪労働局の田畑一雄局長、大阪府の松井一郎知事、摂津市の森山一正市長をはじめ、関係者約50名に出席いただきました。

ダイキンサンライズ摂津は、大阪府・摂津市・ダイキン工業の出資による第三セクターで、重度障がい者多数雇用事業所として設立し、今年で25周年を迎えました。1993年5月に肢体不自由の社員16名でスタートして以来、操業2年で黒字化を実現し、98年以降は順次、聴覚・知的・精神など障がいの幅を広げながら雇用を進め、現在は社員161名（うち障がい者143名）が活躍しています。

ダイキンサンライズ摂津では、障がいのある人にとって、自らの力で生活し社会に参画することが自信と誇りを生み出し、生きがいにつながると考え、一人でも多くの障がい者が生き生きと働ける会社に向けて2023年には210名の雇用をめざします。

今回、雇用の拡大に対応して、新棟に事務所や食堂、更衣室、倉庫を移し、既存の工場における作業スペースを大幅に増やします。これまで培ってきた社員の能力開発や様々な経験・ノウハウをさらに発展させ、社員自ら技術を磨き、仕事を高度化できる場として利用していきます。

今後もダイキングループでは、「一人ひとりの成長の総和が企業の発展につながる」という理念のもと、障がいの有無や程度に関わらず、すべての人が能力を最大限に発揮し、意欲と誇りを持って働き続けられるグループをめざしていきます。

**【新事務所棟の概要】**

1. 投資額：約9億円
2. 延床面積：2,547㎡（既存工場：2,625㎡）  
（事務所、会議室、食堂、更衣室、倉庫）



既存工場（左）と新事務所棟（右）

**【ダイキンサンライズ摂津の概要】**

1. 資本金：2億4,955万5千円
2. 出資比率：大阪府 38.4% 摂津市 4.4% ダイキン工業グループ 57.2%
3. 会社設立：1993年5月
4. 代表者：代表取締役社長 澁谷 栄作（しぶや えいさく）
5. 事業内容：空調部品の組み立て、油圧機器の加工・組み立て、フッ素化学品製造など
6. 売上高：18億円（2018年3月期）
7. 従業員：161名（内：障がい者143名／2018年6月26日現在）  
 肢体不自由者 33名、聴覚障がい者 31名、知的障がい者 31名  
 視覚障がい者 1名、精神障がい者 47名（うち重度障がい者 69名）